

第 23 回小諸新校再編実施計画懇話会

日時：令和 8 年 1 月 20 日（火）

18 時 00 分～19 時 00 分

会場：小諸商業高校 N 棟 3 階 大教室

<次 第>

1 開 会

2 挨 拶

3 会議事項

- (1) 「第 22 回小諸新校再編実施計画懇話会」まとめ [資料 1]
- (2) ワーキンググループ進捗状況報告 [資料 2]
 - ・ 体験入学、音楽科行事報告 [資料 3]
 - ・ 小諸義塾 身に付けさせたい力 [資料 4]
 - ・ 小諸共学共創コンソーシアム（案） [資料 5]
- (3) 懇話会を振り返って [別冊資料]

4 閉 会

新校再編実施計画懇話会開催要綱

(目的)

第1 県教育委員会が、統合新校ごとの再編実施計画を策定するにあたり、再編対象校に加えて、対象校が所在する地域の意見を聴くため、「新校再編実施計画懇話会」(以下、「懇話会」という。)を開催する。

なお、懇話会は、地方自治法第138条の4第3項の規定に基づき、法律又は条例により設置された附属機関ではないものとする。

(会議事項)

第2 懇話会は、次の事項について意見交換を行う。

- (1) 学校像、教育方針等に関すること
- (2) 校地・施設・設備等に関すること
- (3) 管理運営等に関すること
- (4) 教育内容等に関すること
- (5) その他、県教育委員会が必要と認める事項に関すること

(構成員)

第3 懇話会の構成員は、統合対象校の学校関係者(校長、教職員等)、地域の代表(自治体関係者、産業界の代表等)、同窓会、PTA、生徒の代表等とし、必要に応じ、県教育委員会が依頼する。

2 会議に座長を置く。

(開催期間)

第4 会議は統合新校が開校するまでの間、開催するものとする。

附 則

この要綱は、令和2年10月26日から施行する。

第23回 小諸新校再編実施計画懇話会 構成員名簿

※◎座長

No	区分	氏名	所属等	役職等
1	自治体	田中 尚公	小諸市	副市長
2		山下 千鶴子	小諸市教育委員会	教育長
3		宮本 隆	北佐久郡町村教育委員会連絡協議会	代表
4	産業界	塩川 秀忠	小諸商工会議所	会頭
5		鷹野 裕一	一般社団法人小諸青年会議所	理事長
6		清水 信	(株)かのを屋	代表取締役
7	学識経験者	西村 廣一	小諸商業高校・小諸高校	元校長
8	地域	甘利 庸子	のぞみグループ	代表
9		滝沢 裕之	佐久地域振興局	局長
10	同窓会	◎ 高見澤 敏光	小諸商業高等学校同窓会	特別顧問
11		東城 芳春	小諸高等学校同窓会	会長
12	PTA	塩川 久美子	小諸商業高等学校PTA	会長
13		飯嶋 さやか	小諸高等学校PTA	会長
14		嶋田 知英	小諸市PTA連合会	会長
15	学校関係者	甘利 哲夫	小諸市校長会	副会長
16		粟津 原弘文	小諸市内中学校代表	校長
17	再編対象校	栞原 勝海	小諸商業高等学校	生徒会長
18		武井 瑚羽	小諸商業高等学校	生徒会副会長
19		矢澤 健吾	小諸商業高等学校	2学年代表
20		竹内 太夢	小諸高等学校	生徒会長
21		關 陽 芙美	小諸高等学校	生徒会副会長
22		大池 花佳	小諸高等学校	生徒会副会長
23		坂口 健之	小諸商業高等学校	校長
24		大槻 高範	小諸商業高等学校	教諭
25		柳澤 弘蔵	小諸高等学校	校長
26		新井 雅人	小諸高等学校	教諭

事務局

学校名	氏名(役職等)
小諸商業高校	辻 隆秀 教頭(事務局長) 大槻 高範 教諭 柳澤佐知子 教諭 中澤 深二 教諭 郷津 祐介 教諭
小諸高校	有坂 清明 教頭(副事務局長) 新井 雅人 教諭 甲田 健 教諭 荻原 萌花 教諭 中村 幸司 教諭

高校教育課 高校再編推進室		
長野県教育委員会 事務局	原 多恵子 主幹指導主事	
	原 周一郎 主任指導主事	
	細萱 裕樹 主任指導主事	
	宮澤 春菜 主事	
	学びの改革支援課 高校教育指導係	
	前山 和志 主幹指導主事	

第 22 回小諸新校再編実施計画懇話会まとめ(案)

日時	令和 7 年 (2025 年) 6 月 16 日 (月) 午後 6 時から午後 7 時 30 分					
会場	小諸市庁舎 3 階 第 1・第 2 会議室					
出欠席 (敬称略 ◎座長)	田中 尚公 甘利 庸子 武井 瑚羽 大槻 高範	山下千鶴子 滝沢 裕之 矢澤 健吾 柳澤 弘蔵	宮本 隆 ◎高見澤敏光 竹内 太夢 新井 雅人	塩川 秀忠 飯嶋さやか 關 陽芙美 以上 21 名	清水 信 栗津原弘文 大池 花佳	西村 廣一 栗原 勝海 坂口 健之
欠席 (敬称略)	鷹野 裕一 嶋田 知英	東城 芳春 甘利 哲夫	塩川久美子 以上 5 名	傍聴者	傍聴 5 名 (オンライン 1 名)	
事務局	小諸商業高校 3 名 柳澤教諭 中澤教諭 郷津教諭 小諸高校 4 名 有坂教頭 (副事務局長) 甲田教諭 荻原教諭 中村教諭 高校再編推進室 5 名 佐野室長 原 (多) 主幹指導主事 宮澤主事 細萱主任指導主事 原 (周) 主任指導主事 学びの改革支援課 1 名 前山主幹指導主事					
会議事項	(1) 第 21 回小諸新校再編実施計画懇話会まとめ (案) (2) 校歌・校章 お披露目 (3) ワーキンググループの進捗状況報告 (4) 今後の課題について					
当日資料	次第、開催要項、構成員名簿、第 21 回小諸新校再編実施計画懇話会まとめ (案)、 校歌・校章、小諸義塾高校 (仮称) 開校に向けた検討事項の進捗状況報告					
主な内容 (・説明内容 →事務局回答)						
<p>会議事項</p> <p>(1) 第 21 回小諸新校再編実施計画懇話会まとめ (案)</p> <ul style="list-style-type: none"> 事務局から説明し、意見及び質問なし。 <p>(2) 校歌・校章 お披露目 [事務局]</p> <ul style="list-style-type: none"> 5 月 24 日 (土) 小諸高校音楽ホールにて校歌・校章のお披露目会を実施し、校章のデザイナーである堺 奈央 氏、校歌の作詞・作曲者である横内 日菜子 氏に出席いただき、制作にあたっての思いなどを伝えていただいた。 <p>【感想】</p> <ul style="list-style-type: none"> 校章とコミュニケーションマークは、制作者と生徒たちが一緒に試行錯誤しながら決めたデザイン。親しみやすいデザインとなったため、様々な場面でたくさん使ってもらいたい。 校歌は、これまでの校歌と違った雰囲気、とても素敵だと感じた。 小諸商業高校と小諸高校はそれぞれの歴史を積み重ねてきたが、統合によってその歩みが一旦区切られる。しかし、子どもたちが統合を前向きに捉え、発展の可能性を感じていることに感動した。 梅花教育の思いが引き継がれており、校章やコミュニケーションを通じてその精神が継承されている。小中学校も含めて、梅花教育の理念をさらに深めて進めていく必要があると改めて感じた。 <p>(3) ワーキンググループの進捗状況報告 [事務局]</p> <p>○教務全般</p> <ul style="list-style-type: none"> 開校式・始業式・入学式：日程及び会場調整中。 修学旅行：来年度は 11 月に 3 泊 4 日で沖縄に決定。 履修・卒業認定：教科ごとに内規の読み合わせを実施し、修正案がほぼ完成。 資格単位認定：教科ごとに検討中。 校則・内規：生徒指導内規の最終案を両校で検討中。 <p>○教育課程・進路関係</p> <ul style="list-style-type: none"> 教育課程：令和 8 年度分は決定済み。時間割作成に向けて調整中。 フレキシブルラーニングタイム：主体的な学び (普通科)、課題研究 (商業科)・音楽科授業 総合的な探究 (金曜午後)、放課後の自由活動 (部活・探究・検定学習など) 						

○探究・コンソーシアム

- ・県立高校特色化スタートアップ事業：コンソーシアムのアドバイザー委託や視察等も実施。
- ・視察予定：京都府（開建高校・堀川高校）6月19・20日、島根県（邑南町・江津市）6月23日

○施設利用

- ・備品選定：設計者と連携しながら検討中。
- ・改修・引越し：既存棟北校舎3・4階が使用可能となるため、7月7日・8月18日に引越し予定。

○生徒会

- ・生徒会組織：正式に決定。委員会の名称・業務内容を検討中。
- ・文化祭：名称をアンケートで決定予定。共同制作や、一般公開で両校が協力。

○入試

- ・令和8年度入試：小諸高校校舎で実施予定。
- ・音楽科全国募集：「地域みらい留学」に参画。専用ページを更新中。進学フェス6月21・22日に東京で開催。

○DX・ICT

- ・ホームページ更新：県から構築事業に関する予算が付与された。令和8年10月1日公開を目標に準備中。
- ・ICT活用：業務効率化や課題解決に向けて情報収集中。

【質問】

- ・「新校並びに創立120周年記念事業実行委員会」で集められた寄付によって、同窓会の後輩である新校の生徒に不自由がないように備品の整備を進めていきたい。
→ 備品の整備については同窓会と協力しながら進めていきたい。
- ・ホームページはスマートフォンからも見やすいページの作製をお願いしたい。
→ スマートフォンでも見られるように仕様書に盛り込んである。

(4) 今後の課題について [高校再編推進室]

- ・工期が4ヶ月延長されたが、令和8年4月の開校は変更なし。開校から校舎完成までの4ヶ月間、学習環境の保障を最優先に考え、普通科・音楽科は現小諸高校の校地を使用、商業科は現小諸商業高校の校地を使用する。
- ・各キャンパスに職員を常駐させ、生徒指導・進路指導を担う。一部の教員はキャンパス間を移動して授業を担当する可能性がある。
- ・学校行事やクラブ活動などで生徒のキャンパス間移動が必要になる場面を想定している。移動手段（バス等）については県教育委員会と小諸市で検討中。
- ・保護者の負担軽減にも配慮し、課題を整理して対応する。生徒・保護者・地域・中学生に向けて積極的に情報提供を行い、準備を進める。関係者の理解と協力を引き続きお願いしたい。

【意見】

- ・小諸義塾高校に関わる全ての人が、生徒の学びの保障を自分事として考えているかが重要。フロントランナーとして、このチャンスを存分に活かしてもらいたい。

◎座長まとめ

- ・校歌、校章、コミュニケーションマークが新校のシンボルとして末永く生徒や地域に愛されるように願っている。
- ・ワーキンググループの進捗状況では生徒の学校生活が垣間見える内容で、開校が本当に楽しみである。
- ・工期延長とそれに伴う対応は大きな課題である。両校と県教育委員会、そして建設部施設課に加え、財政部門と連携を密にとり、大きな希望と夢を膨らまして学ぼうとする新入生、現1年生、2年生の期待に応えられるように、教職員の配置等に万全を期していただきたい。

連絡報告 [高校再編推進室]

- ・6月12日の長野県教育委員会定例会にて商業科が「ビジネス科」の名称になることが決定。長野県で初めての名称となるため、商業科のイメージを超える学科名として広く周知していきたい。

その他

- ・第23回再編実施計画懇話会の開催については未定

小諸義塾高校 開校に向けた検討事項の進捗状況報告

資料2

第23回 小諸新校再編実施計画懇話会資料

WG	検討項目	令和8年1月までの進捗状況
学校全体	校歌、校旗・校章	・ 校旗をはじめ正門の校徽、門標制作など業者選定終了、発注を進めている。
	ホームページ開設・更新	・ 11月に公開済み、順次情報を更新している。
	開校準備	・ 開校式 令和8年4月6日(月)10時から開催。 会場：小諸文化会館 両校の閉校式と合わせて準備を進めている。 ・ 両校教員合同「新校合同準備会議」の開催。 第1回目 4月30日 教科ごとの検討 第2回目 8月20日 分掌ごとの検討 第3回目 12月17日 分掌ごとの検討② 以降、必要に応じて適宜に部署ごとで開催している。教科ごとの合同会議を2月と3月に開催予定。
	体験入学	・ 別紙にて報告。
	学校説明会	・ 別紙にて報告。
	広報計画・パンフ作成 小中学校向け広報 学校説明会 その他の説明会等	・ 施設見学会(兼 進路個別相談) 10月スマイル小商店街 計12名 11月29日 参加者29名(説明会参加 12名) 12月16日 参加者33名(説明会参加 6名) ※1月24日(土)最終回 実施予定 ・ 個別の学校訪問、出張学校説明会も実施している。
	中学校訪問	・ 第2通学区の中学校29校へ再編担当係が分担して訪問した。内容については別紙にて報告。
① 教務全般	小諸義塾高校開校にあたり 在校生への説明	・ 4月からの新校の内容、特に学校生活に関する内容について在校生及び保護者への説明会を2月下旬に学校ごとで実施し、4月からの生活に備えてもらう。在校生は学年集会等の方法にて、保護者説明は対面及びオンラインのハイブリッド型にて行う。2学期制や日課、工期延長に伴う対応、学校の決まり、一足制などを説明する。
	開校式 入学式・卒業式	・ 開校式 令和8年4月6日 10時から開催予定。 始業式 令和8年4月6日 11時から開催予定。 会場：小諸文化会館 入学式 令和8年4月7日 10時から開催予定。 会場：小諸文化会館、入学式後に小諸市公民館を利用して保護者PTA発足式やクラスホームルームも実施する。
	年間行事検討	・ 具体的な行事を入れながら検討を進めている。3月中旬完成予定。
	校務分掌	・ 分掌表全般について決定、具体的な分掌の構成人数や構成メンバーについて検討を進めている。
	内規	・ 新校開校に向けた内規全般についてほぼ検討が終了。現在、最終チェックを行っている。 ・ PTA会則も最終チェックをおこなっている。
	HR配置、職員室配置	・ 3月末と8月夏休み中の引っ越しを見据えて配置を決定。

② [A教育課程 進路関係]	教育課程	・ 県への提出も終わり、時間割作成に向けて準備を進めている。
	進路指導方針	・ 新校合同準備会議などで検討を進めている。普通科、ビジネス科、音楽科ごとのもの、進路先（四年制、短大、専門、就職）ごとの作成を進めている。
	進路行事 進路関係	・ いままで実施してきた進路行事について継続、回数を減らすなど見直しを実施。それぞれの学校で実施してきた行事で効果的なものは新校でも継続して実施する。 継続：信毎進学相談会、大学見学会、大学出前授業、sign posts、進学補習ほか
	指定校推薦	・ 指定校推薦継続の依頼をおこない、新校でも引き続き指定校推薦枠をいただいている。
[B探究]	探究的な学び	・ 「身につけたい力」（別紙）を作成。生徒に愛着が湧くように総合的な探究の時間の名称を募集し2月に決定する。探究の大枠をもとに、各学年の活動計画の詳細を検討、作成している。
	R7探究（3科融合含む）	・ 1学年については、1学期に共通の教材で「探究のサイクル」を学んだ。2学期からは地域探究を行い、10月16日に両校合同で小諸市内の市役所、企業の方々に協力していただき地域講座（16講座）を実施した。また、小諸商業高校と小諸高校で時期は異なるがフィールドワークを実施し、発表に向けた準備に取り組んでいる。
[C小諸共学 共創コン ソーシア ム]	地域連携 教科・学科横断型の学び 本物に触れる学び 大学・企業連携	<ul style="list-style-type: none"> ・ 両校で改めて「共学共創コンソーシアム」の全体像について確認。（別紙） ・ 持続可能なコンソーシアムにするための「しくみ化、システム化」の整備、組織作り（役員会、事務局の設置、地域連携協働室、地域共創係（校内係）を行っている。 ・ いままで活動や実績のデータベース作成、人材バンクの作成、年間計画の作成を進めている。 ・ 地域連携協働室の活用方法の検討を進めている。
③ 施設利用	改修工事	・ 12月改修工事が終了、一部新校舎の工事の関係で残っている部分あり。材料の性質の関係で不具合もあるが、施設課・NOKSと連絡を取りながら補修を進める予定。
	備品の整備	・ 入札から納品までに2か月ほどかかるため納品されていないが、改修校舎分はほぼ整備が終了した。3月末には納品される予定。新体育館分も入札に向けた手続きを進めている。 新校舎分は、7月～8月納品に向けて3月末に選定を終わらせる予定で検討を進めている。
④ 生徒会	生徒会組織、委員会名称	・ 文化祭名称は「三華祭」に決定。組織、委員会名称についても併せて決定。すでに生徒会選挙も終わり新校組織体制での生徒会活動が始まっている。
	生徒会会則・会計	・ 大枠は完成し、各校で確認をおこなっている。2月末完成予定。
	生徒手帳作成	・ 4月配布に向けて作成を進めている。3月完成予定。
	R7合同活動（CM, クラスマッチ）	・ 文化祭ではステージバックを両校で一緒に制作し、小諸高校一般公開での小諸商業高校ブースを出展した。クラスマッチでは、2日のうち1日は合同での開催を実施。

④ 生徒会	こもこもフェス	<ul style="list-style-type: none"> 11月22日 10:00～15:30 佐久市市民交流広場 小諸義塾高校のPRのため、両校生徒会が主体としてイベントを開催。各学科の授業説明や音楽科による演奏会、縁日等を行い、多くの方に参加していただいた。
	合同生徒会運営	<ul style="list-style-type: none"> 12月19日・22日・23日第7回合同生徒会（リーダー研修会）を実施。「新入生歓迎会」「各委員会の活動」「三華祭」「プライスレス祭」「クラスマッチ」について検討を進めた。 新ホームページの生徒会ページ、新校SNS広報、学校のきまりについても検討を進めていく。
	三者協議会	<ul style="list-style-type: none"> 12月23日 16:00～17:00 小諸商業高校 両校合同にて三者協議会を開催、テーマは「学校のきまり」。「学校のきまり」についての全体説明のあとに生徒・保護者・教員一緒のグループごとに意見をだしていただいた。 いただいた意見をもとに4月からの具体的なきまりの作成を進める。
⑤ 入試	前期選抜・後期選抜準備	<ul style="list-style-type: none"> 令和8年度入試は小諸高校の校舎を使用して実施する。委員会組織にて準備を進めている。
⑥ 校則	学校のきまり（校則） アルバイト規定ほか	<ul style="list-style-type: none"> 12月23日三者協議会での内容を踏まえて、2月在校生への説明会に間に合うように4月からの規定の作成を進めている。
⑦ DX×ICT	ホームページ開設・更新	<ul style="list-style-type: none"> 新校ホームページが11月に公開された。随時、新校の情報を公開している。
	校務システム（C4th）	<ul style="list-style-type: none"> 統合による校務システム（C4th）の準備について教育委員会と連携を取りながら進めている。1月末に打ち合わせ予定。
	その他DX	<ul style="list-style-type: none"> 出欠席管理を含めた家庭連絡網「きずなネット」やタブレットを活用した学習支援システム「ロイロノート」の継続など準備を進めている。

【体験入学、音楽科行事報告】

普通科体験入学

日 時：7月28日（月）

参加人数：中学生 253 名、保護者引率 100 名

様 子：

- ・中学生の参加人数は昨年（141 名）より 112 名増加した。保護者の参加も昨年の約 2 倍に達した。小諸・佐久地域をはじめ、上田地域などの広域からも参加が見られた。
- ・新校開校を見据え、通常の教科に加えて「探究」の体験授業を行い、中学生から好評を得た。
- ・保護者向け説明会および質疑応答では、施設・教育内容・部活動等について多くの質問が寄せられ、新校への興味・関心の高まりを実感した。

ビジネス科体験入学

日 時：7月30日（月）

参加人数：中学生 155 名、保護者引率 86 名

様 子：

中学生 155 名、保護者引率 86 名

- ・参加者数については、例年と同水準を維持する結果となった。
- ・新校の学びを見据え、従来の「在校生との交流」に加え、ケースメソッドを用いた体験授業を実施し、中学生から好評を得た。
- ・アンケートで寄せられた多くの質問に対し、小諸高校分と合わせて回答を作成し、小諸義塾高校ホームページへ掲載した。

音楽科体験入学

日 時：6月14日（土） 9:00～12:30

参加人数：中学生 80 名（1年生 4 名、2年生 11 名、3年生 65 名）、保護者 72 名

様 子：

- ・参加人数については、例年と同水準の規模であった。
- ・全国募集の初年度となるが、本格的な周知活動前ということもあり、県外からの参加者は新潟県および静岡県からの 2 名に留まった。

音楽科説明会

日 時：10月4日（土） 9:00～11:00、11:10～16:00

（希望者対象の体験レッスン等、終了時間は各自異なる）

参加人数：中学生 44 名（1年生 2 名、2年生 6 名、3年生 36 名 県外 4 名含む）、保護者 50 名

様 子：

- ・参加人数については、昨年比で 10 名程度の増加となった。
- ・東京での説明会やオンライン実施を通じ、兵庫県・新潟県・埼玉県・大阪府などの県外から、問

い合わせや参加が見られた。

- ・全体説明会にて工期延長に関する説明を行ったが、その後の個別相談会において、新校（工期等）に関する特段の質問は寄せられなかった。

受験講習会（中学校3年生のみの参加）

日 時：11月15日（土） 10:00～14:30

参加人数：中学生 41名

様 子：

- ・参加人数は過去10年間で最多となった。例年、本講習会の参加者数は受験者数と関連しており、志願動向を占う指標となっている。
- ・県外からは、新潟県、東京都、埼玉県、大阪府の4名が参加した。

音楽科第31回定期演奏会（創立120周年及び音楽科開設30周年記念演奏会）

日 時：11月3日（祝） 13:00 開場 13:30 開演

会 場：上田市サントミューゼ 大ホール

来場者数：おおよそ1,300人（小諸高校普通科在校生400人を含む）

様 子：

- ・例年、集客が課題となっていたが、今回は普通科在校生の参加に加え、予想を大幅に上回る来場者数を記録した。その要因として、120周年事業実行委員会による広報活動やメディア露出、記念演奏会への著名な音楽科卒業生の招致などが挙げられる。また、テレビ番組の企画により、卒業生である Mrs. GREEN APPLE の藤澤涼架氏がサプライズ訪問したことも大きな反響を呼ぶ要因となった。

【中学校訪問報告（要約）】

生徒・保護者の志望動向

中学校訪問を通じた進路指導主事らとの対話において、多くの学校から「例年より志願者が多い」という確かな手応えを得ることができた。具体的な事例として、2学級のうち10名弱が本校を志望している中学校も見受けられた。これらは、統合に伴う新校舎の整備や、単位制導入による教育課程の柔軟性に対する期待が、志願者数の増加に直接繋がっているものと考えられる。

各学科への反応

普通科：

単位制の導入に伴う「総合選択制」や「デュアル実習」といった本校独自のメリットに魅力を感じている生徒は多い。中学校側の感触としても、これらの特色ある教育課程への関心が、前期・後期選抜ともに安定した志願者数の確保に繋がっていると感じた。

ビジネス科：

就職への有利さから保護者の勧めで希望するケースや、女子生徒、野球部希望者からの人気が高まっていると感じた。

音楽科：

志望者は各校1～2名程度であるが、個人レッスンを受けるなど専門的に学びたいという意欲的な生徒がいる。

カリキュラムおよび学校生活への関心

新校の特色である単位制とFLT（フレキシブル・ラーニングタイム）については、「主体的な学びの時間」を部活動や個人のトレーニングに活用できるのかといった具体的な質問が寄せられた。また、校舎改修に伴う工期延長が部活動に与える影響も関心の的となっており、練習場所の確保や移動用スクールバスの運行体制について強い関心が示された。これらに対し、現在は「県と密接に連携し、活動に支障がないよう検討を進めている」と回答し、受検生や保護者の不安を払拭し安心感を持っていただけるよう努めた。

地域・通学環境について

広域からの志願、望月中学校から自転車で通学するケースや、佐久平・田中駅までの送迎、近隣市町村へ転居の予定に伴い入学を検討している家庭もあり、通学圏内が広がっている印象である。

中学校への情報提供のあり方

対応していただいた中学校の教員の理解度に差があると感じられた。特に情報の浸透が薄い層に対しては、口頭だけでなく図解された紙資料を併用するなどの工夫が必要であると再認識した。

【学校説明会報告】

会場：小諸商業高校（全体会 北棟4階オープン教室、校舎案内）

合同生徒会による「綿あめ」おもてなし

第1回目

日時：8月30日（土）9:30～11:30

中学生：25名、保護者 28名、一般 19名 計72名

（一般内訳：市会議員、他校の新校設計、報道、新潟県教育委員会視察ほか）

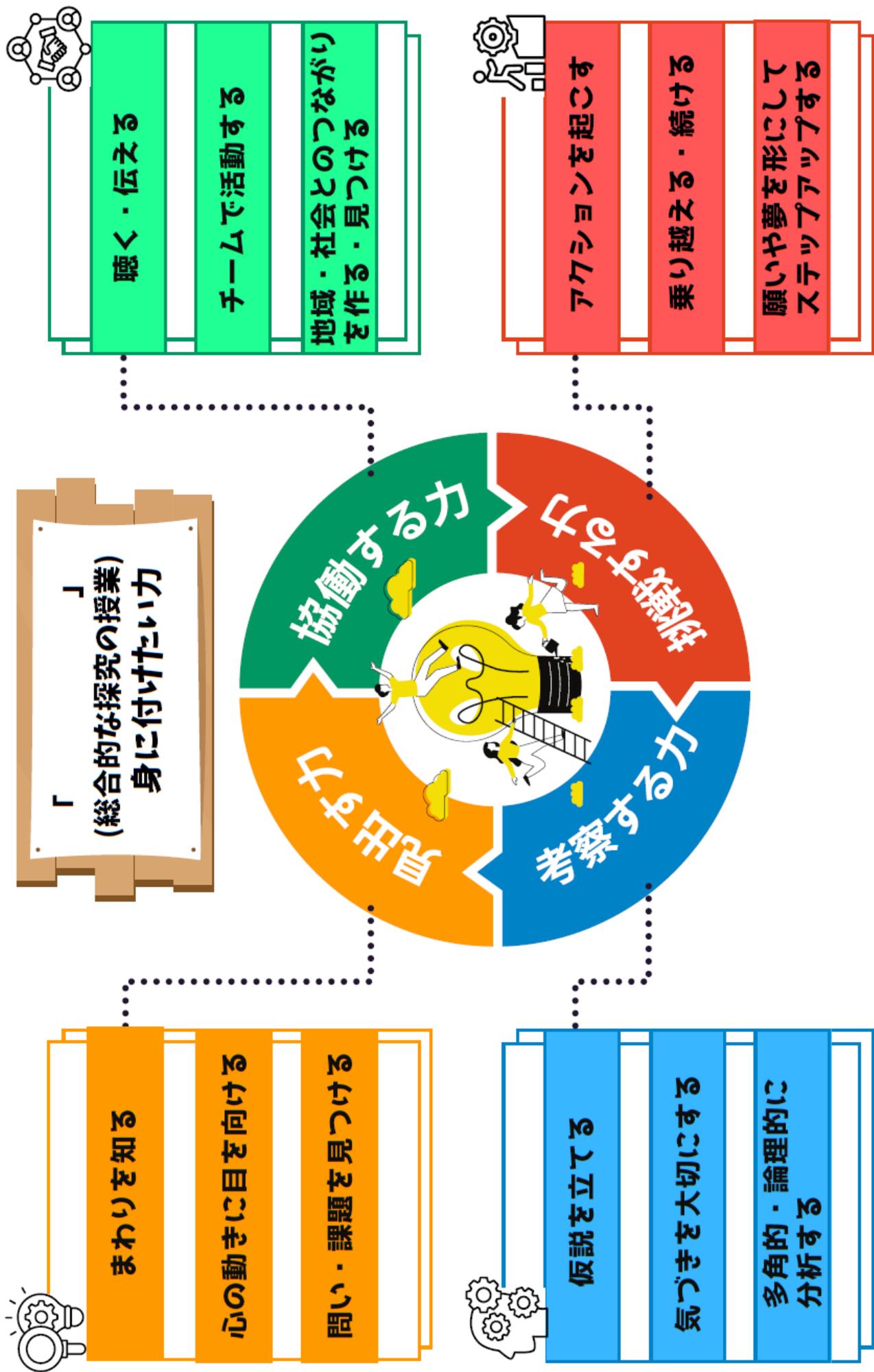
開校前年度を迎え、立地や校舎を直接確認する機会として小諸商業高校にて説明会を開催した。改修済みの開放教室を会場とし、最新の什器やDXハイスクール導入機器を活用したことで、新校の学習環境を具体的に提示することができた。来場者は事前申込の中学生・保護者に留まらず、一般市民や市議会議員など多岐にわたり、中学生のみでの参加も見られるなど、親しみやすく開かれた場となった。また、合同生徒会による「綿あめ」の提供など、生徒主体の温かなおもてなしも加わり、新校の活気を示す盛況な説明会となった。

第2回目

日時：10月4日（土）13:30～15:30

中学生：中学生 22名、保護者 19名、一般 2名 計43名（一般内訳：報道2）

第2回学校説明会を開催したところ、当初予想の15名を大幅に上回る40名超の参加があった。午前中の音楽科説明会に続く午後の開催設定が、参加者層の拡大に寄与したと考えられる。また、中学生のみでの参加が前回より増加しており、進路選択に対する生徒主体の真剣な姿勢が伺えた。運営面では、合同生徒会が司会や受付、案内を担ったことで、前回よりも親しみやすい雰囲気構築に成功した。今後は個別対応や施設見学会が活動の中心となるが、どの対象に対しても一貫した情報提供ができるよう、資料等の整備を徹底していく。



小諸共学共創コンソーシアム(案)

学校と地域が共に学び地域の未来を創造する

- 探究的な学び等の学習活動
- キャリア教育
- 課外活動・ボランティア活動
- 生徒会活動・学校行事等

- 学校施設利用・生徒交流を通し、共に学ぶ
- 地域社会や事業を担う人材育成
- 地域社会の活性化
- 地域課題の解決

情報発信

地域連携協働室

施設管理
運営補助

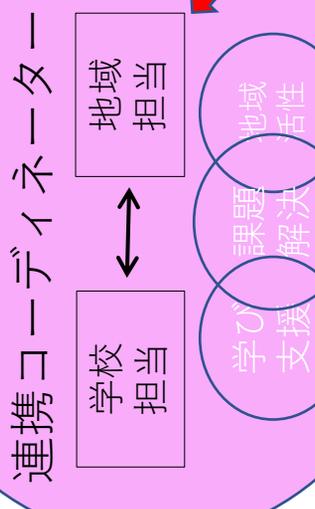
人的支援
運営補助

学

小諸義塾
(窓口 地域共創係)

官

小諸市
(窓口 企画課)



直接的なつながりの中での連携・協働の相談

- 大学短大
- 専門学校
- 中学校
- 小学校

学 産 企業

連携・協働の相談

連携内容調整

連携・協働の相談

連携内容の調整

連携・協働の相談

企業

地域団体

産 民

商工会議所

その他

調整

義塾サポーター (人材バンク) リストアップ